

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2021年度 第4回理事会議事録

日時：2022年1月15日（土）14時00分～16時35分

会場：ZOOM WEB会議

出席者：（理事）金澤 剛（WEB） 小沼 正昭（WEB） 小國 英夫（WEB）
佐藤 健二（WEB） 宮本 信（WEB） 宮脇 棟次郎（WEB）
松下 啓子（WEB）

（監事）石原 温（WEB） 沖倉 紅児（WEB）

オブザーバー参加者：會田 ゼイ（WEB） 清田 隆広（WEB） 大西 祐子（WEB）
島村 宏（WEB） 小糸 孝一（WEB） 堺 珠美（WEB）
佐々木 竜太（WEB） 江口 孝一（WEB） ティダー キイ（WEB）

配布書類：第4回理事会議案書・同議案書（一部差し替え版）

○招集と定足数

金澤理事長より、1月7日、定款35条1項に基づき、2021年度第4回理事会を招集したこと、又、14時00分現在、理事総数の過半数以上の理事7名が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

尚、本理事会は、新型コロナウイルスの解散拡大の防止の観点から、各役員（理事・監事）並びにオブザーバーの職場並びに自宅をつなぐWEB会議システムを用いて実施した。

次に、金澤理事長が議長に就き、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっているのを確認した。その後、議長が開会を宣言し、議事に入った。

○特別報告1「2022年 特に実現したいこと」

2「特定技能への移行スケジュールの変更について」（修正版）

3「日本語教育支援プロジェクトのデモ講義のまとめと本講義の開始に向けて」

・特別報告1について

□ 今年（2022年）、以下のことをMerit（特徴）とする、事業団への仲間（会員）を増やすことを、最大の目標とすることを確認した。

⑦ N2, N1 取得に向けた日本語教育

⑧ 介護福祉士の資格取得に向けた仕組み作り

⑨ 特定技能制度における登録支援機関の内製化による Cost 削減

・特別報告2、3について、以下のような追加報告と要望があった。

□ 地方出入国在留管理局に提出する、特定技能移行の申請・書類に万全を期すために、1月末を目途に申請・書類を集約し、事前に申請・書類に不備がないことを確認する。

又、事業団が取次者の資格を取得するので、該当地方出入国在留管理局に出向いて、申請。書類を提出する予定だ。

- 受講生のデモ講義の評価は高く、とても勉強になったと報告を受けている。
- 次年度（2023 年度）の日本語教育プログラムの本講義の企画にあたり、年 2 回の日本語能力試験（JLPT）実施に対応する、基本設計、開講期間等の検討をお願いしたい。

○審議事項

第 1 号議案 正社員・賛助社員の入社承認の件

議長は、小沼専務理事より、議案書に基づき、第 1 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、下記の入社に、全員異議なく賛成、可決された。

◇正社員（団体） 社会福祉法人 池修会（理事長 大西 祐子）
：熊本県玉名郡長洲町

◇賛助社員（団体） 株式会社 楽天堂（代表取締役社長 外口 忠広）
：千葉県旭市鎌数

第 2 号議案 アンダマンエイトとの基本協定、覚書、業務委託契約書の締結の件

議長は、小沼専務理事より、基本協定書の一部削除並びに業務委託契約書の一部修正の上、議案書に基づき、第 2 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決された。

尚、審議に先立ち、ミャンマーの送り出し機関アンダマンエイトの曾田 ゼイ統括より、アンダマンエイトの会社概要と取り組みについて説明を受けた。

アンダマンエイトに対し、以下のような質問があった。

- 技能実習生に対し、日本語費用の一部（10 万円）を還元し、経済的な負担を小さくする取り組みを行っているが、どのような経過と理由からか。
- 特定技能に移行した 1 期生が、一時帰国した場合、送り出し機関を通じて、スマートカードの更新・変更等が必要となる。この送り出し機関が、技能実習の入国時点（AM）と異なっても、特に問題はないと判断されるがいかかか。

第 3 号議案 ミャンマーからの介護技能実習第 5 期生の募集の件

議長は、小沼専務理事より、議案書（追加資料）に基づき、第 3 号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、以下の通り、全員異議なく賛成、可決された。

- アンダマンエイトからの受入れを、2023 年 3 月初旬を目途とする。
- 実習生の日本語要件を N 3 相当とし、受入人数を 25～30 名とする。
- 1 月末まで、会員の受入れ求人の募集予定人数を集約する。
- 選考会の開催は、2023 年 3 月の入国予定から逆算して、最適なタイミングで実施することで一致し、改めて、アンダマンエイトの提案を受け、確定することにした。
- 監理団体の選定は、受入実施者、事業団に意向を尊重し、確定する。

○一般報告

議長は、議案書に基づき、小沼専務理事より、一括して報告事項を説明させ、質疑を行った。

以下のことを確認し、又、報告等を受けた。

- 福本理事からの「理事辞任届」(2021年12月18日付)の取扱について、2022年1月15日をもって、受理する。
尚、定款23条(役員)に照らして、現行、7名の理事数から、役員の補充をせずに、本年6月の定時社員総会の任期満了に伴う、役員改選まで、現行の理事体制で臨むこと。又、福本理事の辞任に伴い、定款23条(役員)3号の副理事長も空白となるが、空白のままとすることを確認した。
- アンダマンエイトとの介護技能実習生共同受入のプレ事業に関し、予定の法人からの、求人票と会社案内(動画・パンフレット等)の提出とアンダマンエイトが選抜した候補者13名の履歴書の送付を受けて、1月末あるいは2月初旬にオンライン選考面接会を実施する。又、この選考会を経て、なおも、受入法人が決まらない、候補者が残る場合は、直ちに、会員から、追加して受入れ求人を募集することを確認した。
- ベトナムからの介護技能実習生を受入れの件。まずは、(株)地域法人無茶々園2名、会員2名の合計4名の送り出しを予定。至急の受入れ立候補の検討を要請したい。
- 社会福祉法人寿量会の第1期生シン シアン、ノンさんが、見事に予選を突破し、12月12日のNHKのど自慢に出演した。1月9日(日)に、その録画が全国放映された。当日のご本人は、民族衣装を着て、元気に、はつらつと歌い上げ、司会にマイクを向けられると、「母国でも、学んだ介護を生かせる仕事に就きたい」と抱負を語っていた。
- 次回の理事会に向けて、継続議題となっている「ミャンマーからの介護技能実習生を対象とした、専門用語の難しさとコミュニケーションに係る調査研究の実施」の進め方について、協議することを確認した。

議長は、その後、議事審議を終了し、16時35分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2022年1月15日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛 理事 小沼 正昭 理事 小國 英夫

理事 佐藤 健二 理事 松下 啓子 理事 宮本 信

理事 宮脇 棟次郎

監事 石原 温 監事 沖倉 紅児